

# 近畿神山会だより

近畿神山会  
事務局発行  
'14.3.20

No.28



総勢百七十名が参加  
第二十三回総会盛り上がる

会長 柳澤 尚

**第**二十三回定期総会は、上本町ホテルアウイーナにて開催。冷え込みの厳しい朝、次から次へと會員の皆さんの元気な顔が揃い始める。神山町からはバス二台が早朝に出発。後藤町長、岩丸県会議員をはじめ39名もの皆さんが駆けつけてくれる。子供浄瑠璃「すだち座」の学童たち十七名も今回初めて参加。また、地元大阪からも、木岡連合会長、並木大阪本部長を始め八名の来賓の皆さん。大正琴の琴修会、阿波踊りにしき連の皆さんも参加いただき、参加者は総勢百七十名。総会は大いに盛り上がる。

## 第23回総会



**と**りわけ子供浄瑠璃「すだち座」の学童たちによる傾城阿波の鳴門・巡礼歌の上演には感動の涙。三十分間拍手も忘れて子供たちの人形遣いに引き込まれる。恒例の物産展も大変な賑わい。旬の市・神山の人たちもテンテコ舞。ふるりの香りたつぶりのお土産を両手に帰りにつく會員の皆さんの笑顔が印象的。



**私**たちふるり、神山町、今、過疎の波に洗われています。隣りにアイルランドという国がある。人口四百五十万人。そんなに大きな国ではない。しかし、世界各地には八千万人のアイルランド人が生活しています。歴代アメリカ大統領の役半数はアイルランド系の人。現オバマ大統領のお母さんはアイルランド。有名なケネディ一家はアイルランドからの移住者です。十九世紀の初めに、ジャガイモに病気が発生し全滅しました。主食であるジャガイモがなくなり、これでは餓死をする、と多くの人達が、



佳き年の願い携え天満宮の  
ぜんざい賜う列に並びぬ

ふるりの伝統芸能引き継ぎ  
演ずる児らの巡礼に泣く

(神山会総会にて)

幼名を呼びくれし人またひとり  
逝きて夕べの太白星ひかる

(元会長・住友範明さんを偲んで)

帰り来て補聴器はずし静かなる  
部屋にひとりの灯りをともし

(平成二十六年新春短歌大会  
豊中市議会議長賞受賞)

内川花子(上分支部)



彩画四点

北野泰子(鬼籠野支部)

海外へ移住していききました。祖国を離れても、祖国に対しての思い入れは強いものがあります。祖国の祭りや慶事には訪れて行事にも参加。  
**神**山町も今、過疎の波に洗われています。この近畿には神山町出身者がたくさんいます。近畿神山会を足場に交流を深め、さらには神山町との交流も重ねる。そして町作りのために何が出来るか、皆さんで考えていく。そんなことを是非やっていきましよう。四月六日にはふるさと訪問バスツアーを計画しました。たくさん皆さんの参加をお待ちしています。



森林公園は、その頃

佐古龍三郎(阿野支部)

**現**在の県立神山森林公園は、食べた。季節により違ったが、朝、通称「ふかさ」と呼ばれ、家を出る時刻は稜線の陰を見て盆地をなし松林や落葉樹が多感に頼っていた。炭運びやドングリ、建築用材・薪炭林の宝庫で拾いのバイトで後に時計も買った。あり、家畜の式草、草屋根用の藁刈場など周辺の人たちの生活に深くかかわっていた。  
**父**は漢詩などの趣味があつたらしく、東西の龍王山に抱かれたこの地を「龍王平」と名付けた。隣りに二つ年下の女の子

**太**平洋戦争が激化した昭和十七年ごろより、軍需用の松脂や根を採取して、下の町ま評価され「龍王平」は一位で表で送り込んだ。大量の木炭も生彰されること多かった。教室で産され。若者は軍隊で人手がな師から「ランブで勉強してるの、く、小学校五・六年生、高等科一。ほかのやつは何やってんのや」と褒められたのが唯一嬉しかった。西の山道を一荷に担ぐ者、一俵をの龍王山には松の太木があり、キ二人で運ぶなどし、また、国防ツツキのゴツツ音が耳に残っている。山は婦人會も、搬出にかりだされた。虫にやられて今はない。山は後間もなく外地引揚者対上鮎喰から見えていた。中学二年策として、五家族が入植まで七年間、辛いことも多かった。昭和二十一年、二十二年頃だろうに、今思えば、そんな暮ら

**戦**後間もなく外地引揚者対上鮎喰から見えていた。中学二年策として、五家族が入植まで七年間、辛いことも多かった。昭和二十一年、二十二年頃だろうに、今思えば、そんな暮らのごとである。私の家族も父(朝しができた事に感謝している。鮮全羅南道五八歳)母・兄(兵役から帰国二四歳)六歳の私の四人でした。雑木林を掘り起こし、「あわなどどうにか腹の足し一つ残つてになり、隠し帰った僅かの現金でない。西のやつとの暮ら。電氣は勿論のこ龍王山だけと、水も僅かな小川に頼る。幼だ。森林公い私は山羊やウサギ・鶏の餌係園が開設のまねごと。生活用品・肥料なされてからは兄が天秤棒で四キロ下の店二五年、町から担ぎあげ。通学は片道一時内外から多間くらい、自分で編んだわら草の観光や履で雨の日も雪の日も。行き帰りを求めりには川魚、雑草など何でも、賑わっている。



喜寿傘寿米寿卒寿と登り行き

高根の峯に白寿奉らん

病棟に命のベルが鳴りひびく

ナースが走る夜の廊下

雷雲が生駒の峯をおおいつつ

滝の様うなる雨降りしける

林義鋪(下分支部)

